

								三 学 年 後 期 中 間 試 験		三 学 年 後 期 中 間 試 験		
								組		組		
								番 氏 名		番 氏 名		
(2)	(1)	(1)	16	11	6	1						
1	1番目	1	猶予	内股	ほおばる	もつぱら						
仮	万葉集	力	17	12	7	2						
名		2										
序		キ										
2		3	オ									
力		4	ク									
3	編者ケ	(2)	溺愛	勇猛	じぎ	すいじ						
平	2番目	1										
安	古今和歌集	イ	18	13	8	3						
4		2	甚だしい	堪えない	きゆうせい	りよかつき						
(4)		ウ										
		3	ア									
		4	ア									
	編者力	(3)	19	14	9	4						
	3番目	1	凄惨	刻む	うつぷん	だらく	知					
	新古今和歌集	エ										
		2										
	編者ウ	イ	20	15	10	5	/37 思判表					
			覚醒	音沙汰	ふほう	なごり	/63					
							/100					

三		
(3)	(3)	(3)
8	5	ト
生命 (命)	人 の 心 と 花	ア
9	あ	エ
ABC G	し	2
	ひ	あ
	き	し
	の	ひ
	枕 詞	3
	昨日	
	今日	
	7	
	無	
	常	
	観	
	4	
	工	

四			
(9)	(7)	(3)	(2)
破 屋	そ	1	(例) 時間や年月が旅をしているというふうに表示している。
住めるかた	ぞ	イ	(例) 船も馬も、当時の主な旅の手段だったから。
草の戸	ろ	2	
	(8)	アイウエ	
	1	(4)	
	ひ	私 も い つ の 頃 か ら か	
	な		
	春		
	2		
	ぞ		
	3		
	(例) 旅に一生をささげる覚悟		
	(10)		
	筆 者		
	作 品 名		
	お く の ほ そ 道		
	松 尾 芭 蕉		
	値 段 が 安 い		
	3 目		
	別		
	の		
	不		
	都		
	合		
	(3)		
	ウ		

五				
(8)	(7) ★	(5)	(4)	(2)
ア	柔軟な想像力	科学的な思考力	1	1 目
(9)	う	冷 蔵 庫 な ど	2	理由 1
A	「(例) 本質的に良い物質・悪い物質があるわけではないので、「誰にとつて」	2	利	も
イ	生かされるかというヒトとモノの関係を考えること。	益	(6)	し
B		地	球	も
ア		温	暖	理由 2
C		化		ま
(10)				た
ウ				燃えることがない
エ				2 目
(11)				理由 3
2				そ
イ				れ
3				2
力				別
4				の
ア				不
5				都
エ				合
6				(3)
ウ				ウ

1点

2点

★
3点

六				
(2)				(1)
3	2	1		①
イ	(例)「光害」は「光」の「害」と書きます。	(例)こちからの問いかけに対して聞き手がしっかり考えてくれているか確かめるため。	(例)聞き手全体を見渡して表情などを確認する。	オ
				②
				イ
				③
				ア
				④
ウ				
⑤				
エ				